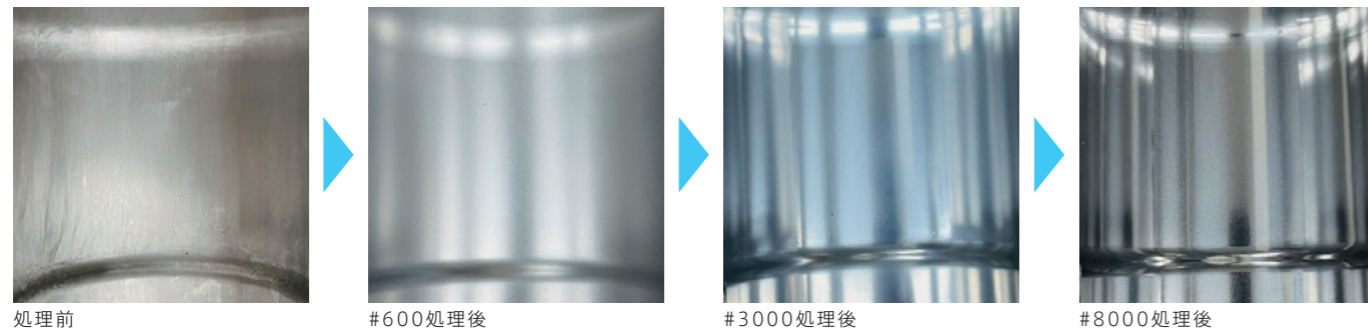


加工例

ペーパー目の除去 + 磨き



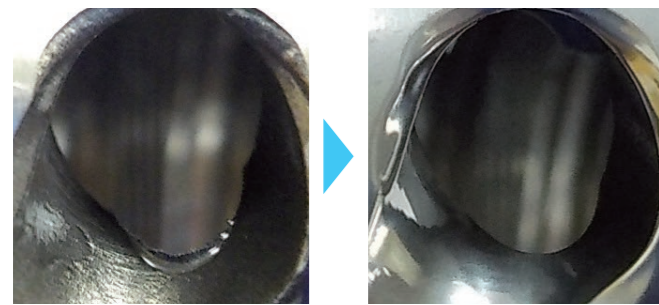
処理前

#600処理後

#3000処理後

#8000処理後

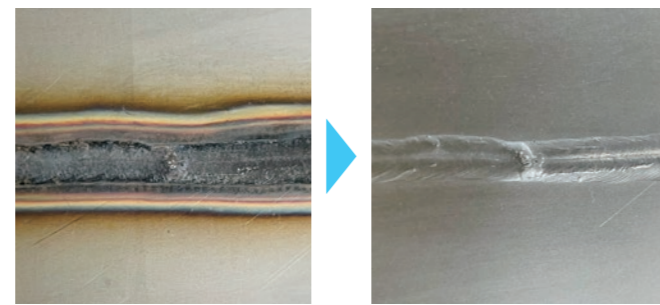
微細バリ取り



処理前

#3000処理後

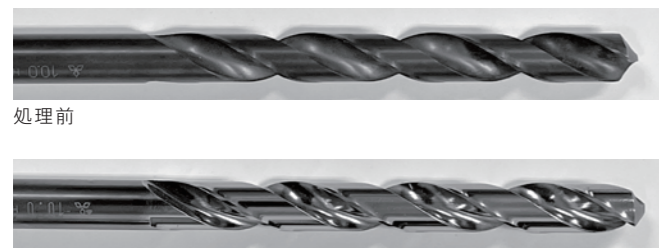
溶接焼け取り



処理前

#3000処理後

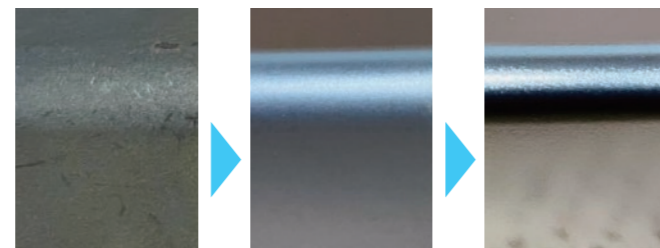
被膜除去



処理前

#8000処理後

放電加工目除去 + 磨き



処理前

#600処理後

#8000処理後

研磨特殊メディア

Lappin

三共理化学オリジナル

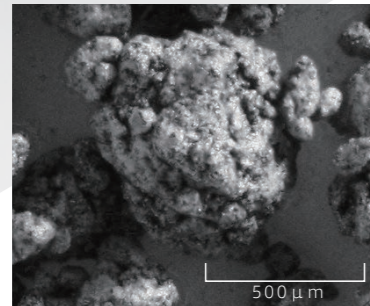
当社、テスト室にて常時テスト加工可能ですのでお気軽にお問い合わせください。各種測定機も完備しております。テスト加工の仕上がり確認後、お客様のご要望を踏まえ装置のご提案をいたします。

プラストに使用するさまざまな研磨材を扱っております。お気軽にお問い合わせください。

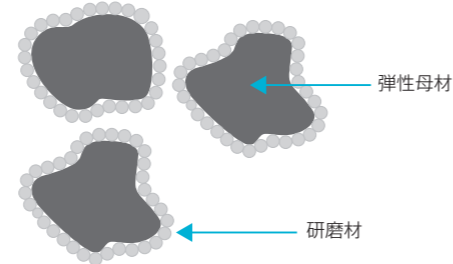
三共理化学が独自で開発した 研磨特殊メディア「Lappin」

研磨特殊メディア「Lappin (ラッピン)」は弾性母材に微細な砥粒をコートしたメディアで、三共理化学が独自で開発したプラスト研磨装置用のメディアです。

| | |
|--------|---|
| 形状 | ○ |
| 平均粒径 | 0.65mm |
| ラインナップ | ダイヤ #1500,3000,6000,8000,10000 炭化ケイ素 #220,600 |
| 対象材質 | SKD, SKH, NAK, ハイス鋼, STAVAX, SUS, セラミックス, アルミ 等 |
| 用途 | 磨き加工, 面粗度向上, 付着物除去, 酸化膜除去, 放電目除去, 機械加工目除去, 下地処理, 微細バリ取り 等 |



【製品イメージ図】



特徴 1

複雑な形状でも元の形を崩さず加工可能

弾性メディアで柔らかいので、複雑な形状でも元の形を傷つけることなく研磨することが可能です。

特徴 2

誰でも簡単に使用可能

研磨ワークに衝突したメディアは、低反発の特性からすぐに飛び跳ねることなく、研磨ワークにそって変形し、長い距離を擦りながら表面研磨を行います。そのため、熟練度を必要とせず、さらに研磨作業を飛躍的に効率化できます。また、加工後は高い復元性により変形前の形状に戻ることで、繰り返し循環利用可能です。

【研磨イメージ】

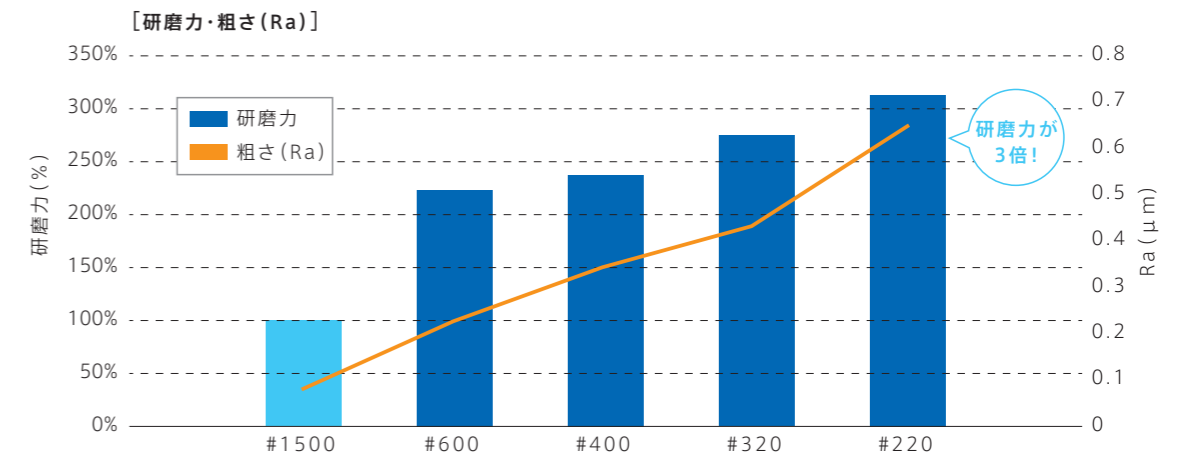


特徴 3

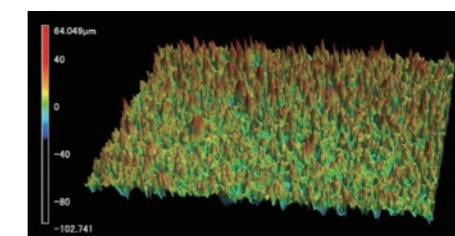
高い研磨性を実現

研磨力が2～3倍！

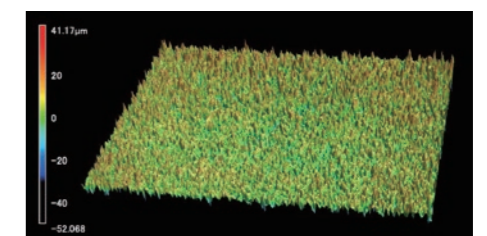
粗磨きでは、Lappin #1500に比べ、#220～#600の研磨力は2～3倍になります。



【金型研磨処理後の表面状態のデータ(#600で処理時)] ※対象ワーク:NAK55 硬度:HRC40



Ra1.01 Rz6.75 (処理前)



Ra0.58 Rz3.78 (処理後)

特徴 4

専用装置以外でも使用可能

「Lappin」専用プラスト装置を2種類ご用意!!

三共理化学では「Lappin」専用として「ブロウ式」「コンプレッサー式」の2種類のプラスト装置を製作しています。その他、乾式エアータイプのプラスト装置なら専用機でなくても使用が可能です。(※要ご相談)



ブロウ式

コンプレッサー式